

## 平成28年度第1回地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成28年4月20日（水） 18:00～19:25

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：12名

出席者：10名

宮里 浩（那覇市立病院）、上田 真（中部病院）照屋 淳（北部医師会病院）、金城 達也（琉大病院）、新垣 千春（那覇市立病院）、長岡 弘子（中部病院）、宮城 みづえ（琉大病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）、増田 昌人（琉大病院）、仲本 奈々（琉大病院）

欠席者：2名 川満 博昭（県立宮古病院）、中上 弘茂（八重山病院）、

陪席者：4名 島袋 幸代（中部病院）、宮永 弥生（琉大病院）、南 大介（よりよい地域医療を応援する会）、呉屋 葉子（琉大病院）

### [冒 頭]

#### 地域ネットワーク部会の部会長および副部会長について

新年度第1回地域ネットワーク部会の開催に際し、順次構成員の自己紹介を行った。引き続き、部会長の選出を行い、部会長に宮里委員、副部会長に金城委員と長岡委員が決定した。

### [報告事項]

#### 1. 平成27年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

宮里部会長より、平成27年度第4回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

#### 2. 平成27年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

宮里部会長より、資料2に基づき、平成27年度現在のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は89例で、施設別では、那覇市立50例、琉大31例、中部病院が8例の順になっていること、疾患別では、乳がん40例、大腸がん34例、前立腺がん6例、胃がん5例、在宅緩和ケア4例の順になっていることが報告された。

#### 3. 那覇市立病院 院内「クリティカルパス」啓発週間

宮里部会長より、昨年12月に那覇市立病院で院内クリティカル啓発週間を行ったことが報告された。

### [協議事項]

#### 1. 今年度（平成28年度）事業計画について

宮里部会長より、今年度の事業計画について説明があり、委員より以下の意見があった。

- ・アウトプット目標1は沖縄県のがん登録の冊子が完成したのでカバーできており、有効活用して欲しい。
- ・大腸がんパスは補助化学療法も対象にしたいため、化学療法パスを完成させる予定であること。ただし、副作用のケアをかかりつけ医に担当して頂くことになるので、化学療法の勉強会が必要。
- ・協力医療機関とパスを使った連携を始めたが、他の疾患がある患者さんで、他の疾患は琉大で診ることに対して、紹介した協力医療機関より、他の疾患で琉大に通うなら連携はしないと、患者さんを帰した。
- ・ケースバイケースだが、最初にかかりつけ医がどこまで診れるのか調整が必要。患者さんにかかりつけ医がいる場合は、がん地域連携パス事業協力医療機関の施設からではなく、元のかかりつけ施設に戻した方がいい。情報提供としてパスを患者さん渡してはどうか。

## 2. 沖縄県がん診療連携協議会・地域ネットワーク部会への今後の活動支援に関するご相談について

南さんより、前回の沖縄県がん診療連携協議会で、埴岡委員より、都道府県別・がん種別の死亡率、改善率などについて説明があり、大腸がんと乳がんがワースト順位であることが報告された。死亡率改善に向けて、NPOでも何か出来ないかと、大腸／乳／肺のWGの責任者とのミーティングの提案があった。

委員より以下の意見があった。

- ・疾患WGを開いたところで、改善するのか。
- ・スムーズな連携が出来るよう登録医を増やしてはどうか。
- ・パスの運用には院内の協力が不可欠であり、先生方がWGに参加することによって、協力的になるのではないか。

以上の意見を受けて、大腸がんWGから始めることになった。WG委員は宮里委員、金城委員と中部病院から一人推薦して頂くことになった。

## 3. 連携パスを利用する患者に対して優先的に渡航費を支払うという施策について

増田委員より、別紙資料に基づき、離島の要望に応える形で「がん患者さんのための療養場所ガイド」を作成した旨の報告があった。このガイドを利用し、地元で行える治療は地元で行い、地元で出来ない治療の時に本島の病院に来院するよう働きかけてはどうか。また、地域連携パスを使っている人は優先的に本島までの旅費を負担すると働きかけることで、パスの普及にも繋がるのではないかと提案があり、委員より以下の意見があった。

- ・パス件数を増やす材料になることや患者の負担の軽減になるので、いいと思う。
- ・パスの利用についてはいいが、運用については、議会の問題。
- ・パスには適用範囲があり、大腸がんなら早期の人が対象なので、抗がん剤をしている人など対象外の患者さんから、不満がでるのではないか。不平等になることを自治体に知ってほしい。
- ・現在の各自治体の体制を具体的に集めて公開するのが大事。意見として協議会に投げかけてどうか。
- ・各自治体の体制状況が見れるよう、各施設のHPにリンクを付けてはどうか。

## 4. その他

宮里部会長より、都道府県別・がん種別の死亡率、改善率の結果を受けて、消化器医師と検診センターと院内で取り組みを始めたことが報告された。

また、就労支援についても連携が必要と思われることから、部会事業に入れてはどうかと提案があった。

## 5. 次回の開催について

次回の開催日は、第一候補は7月20日で、第二候補は7月27日となった。